

乳房炎多発期だけ敷料を変更する農場

古紙の敷料は細菌の繁殖性が著しく低く、ストール内での乳房炎感染のリスクを低める可能性があります。O農場では夏場（6月～9月）限定で敷料を“おが屑”から“古紙”に変更しました。その甲斐あってか今年の乳房炎発生頭数は昨年比べて半減したそうです。



古紙は「あんしんくん」という商品名で農協の資材店舗にて取り扱っています。荷姿は約1 m³の圧縮梱包状態で価格は約7000円。おが屑とのコスト比較がしにくいのですが、この農場での1週間の使用量と価格とを比べると

おが屑・・・4 m³ 約12000円

古紙・・・2梱包 約14000円

という感じで、決して“バカ高くない”という印象です。

使用上の違いといえば

おが屑・・・ストールにいれるのは1週間に一度でいい（本当は良くないんですけどね・・・）

古紙・・・毎日入れないと風で飛ばされる

ということで毎日の投入作業が必要なのが手間ですが。

糞尿処理への影響も2～3ヶ月なら問題なさそうです。「牛に紙がついて汚くなる」ということもありません。

すべての群に1年中使うということではなく、「乳房炎の多い期間」「乳房炎の出やすい群」にだけ使ってみるとするのがミソです！